

PCI DSS準拠・非保持化に向けた スキル強化策 ～ 配布資料 ～

2018年 10月 18日
BSI Professional Services Japan株式会社



By Royal Charter

本日のご説明内容

□ スキル強化の重要性

□ スキル強化支援サービス

- ✓ 学習用DVD [PCI DSS準拠]
- ✓ ワークショップ [PCI DSS準拠 & 非保持化]
- ✓ 文書テンプレート [PCI DSS準拠]
- ✓ AIチャットボット & コンサルタント相談
[PCI DSS準拠 & 非保持化]

□ まとめ

クレジットカード情報セキュリティ対策の取り組み - PCI DSS準拠ケース -

PCI DSS準拠対応に向けて、低額な費用負担で遂行するための支援が求められています。

● コンサルティング（PCI DSS準拠 / フルスコープ）ケース



● メリット

- 実績豊富なコンサルタントの知見・経験の享受
 - ・ コンサルタントによる作業代行・作業支援
 - ・ 確実なPCI DSS準拠対応の遂行

● デメリット

- 高額なコンサルティング費用負担
 - ・ 1,000万円以上の規模
 - ・ 小規模企業にとって割高感

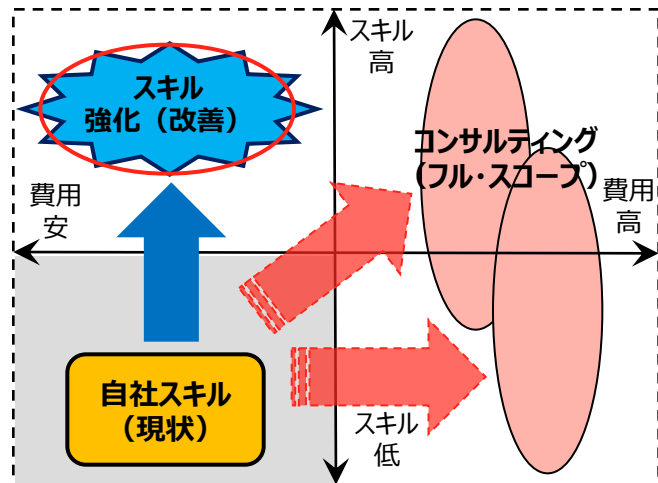
- PCI DSS準拠対応を実現するための費用を軽減したい。
- コンサルティング（フルスコープ）とは別な効果的支援サービスを提供してほしい。

スキル強化の重要性

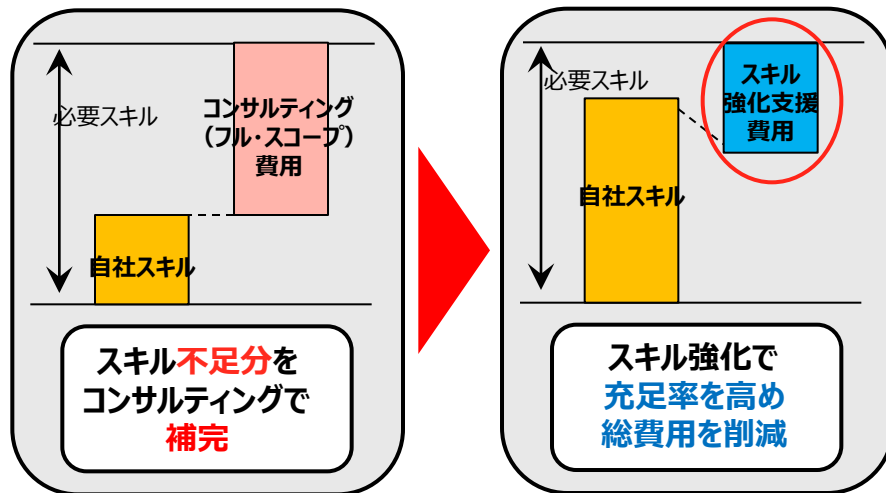
- PCI DSS準拠ケース -

PCI DSSに関する自社のスキルを高めることで、準拠対応にかかわる費用を大幅に軽減できます。

＜自社スキルと費用の関連＞



＜スキル・レベルと費用の関連＞



- PCI DSSのスキル強化は、費用負担を削減するための最重要事項です。
- “スキル強化を支援する各種サービス”で強力に支援します！！

スキルレベルと求められる支援のポイント - PCI DSS準拠ケース -

自社のスキルレベルに応じて強化すべき事項を支援することが、求められる支援の姿と考えています。



本日のご説明内容

□ スキル強化の重要性

□ スキル強化支援サービス

- ✓ 学習用DVD [PCI DSS準拠]
- ✓ ワークショップ [PCI DSS準拠 & 非保持化]
- ✓ 文書テンプレート [PCI DSS準拠]
- ✓ AIチャットボット & コンサルタント相談
[PCI DSS準拠 & 非保持化]

□ まとめ

スキル強化支援サービス

● スキル強化支援サービス・メニュー

弊社では、PCI DSS準拠またはカード情報非保持化を目指す企業向けに以下のサービスを用意しています。

サービス名称	加盟店向け カード情報非保持化支援サービス	PCI DSS準拠 スキル強化支援サービス
サービス 対象事業者	加盟店（対面・非対面） （カード情報非保持化を目指す加盟店）	カード情報取扱全事業者 （PCI DSS準拠を目指す事業者）
サービス・メニュー	—	PCI DSS準拠 学習用DVD
	非保持化ワークショップ（集合研修）	S A Q作成ワークショップ（集合研修）
	—	文書テンプレート
	A I チャットボット&コンサルタント相談	A I チャットボット&コンサルタント相談
	非保持化支援コンサルティング（注1）	アドバイザー 準拠支援コンサルティング（注1）



PCI DSS準拠 学習用DVD教材

(1/2)

PCI DSSおよびSAQに関する基礎知識を習得し、PCI DSS準拠に必要な活動を理解できます。

● DVD教材の概要

- クレジットカード情報保護の基準であるPCI DSS準拠のために、SAQの作成方法を学習することができる3枚組のDVDセットです。
- PCI DSSの要求事項の解説だけでなく、自社の業務・システムに応じた準拠項目が何かを取捨選択で確認できるため、効率的な対応が可能になります。



● DVDの内容

種別	PCI DSS準拠 導入コース (DVD 1に収録)	PCI DSS準拠 実践コース (DVD 2、3に収録)
目的	SAQ（自己問診票） セクション1を理解する	SAQ（自己問診票） セクション2、3を理解する
目的	DVD視聴者がクレジットカード情報を取扱う自社の業務・システムについて、PCI DSSに準拠するための適用範囲を設定（ないしは非保持化）することを目的とします。	DVD視聴者がクレジットカード情報を取扱う自社の業務・システムについて、PCI DSSに準拠するためにPCI DSSの要件を理解することを目的とします。
習得ポイント	・適用範囲を設定（ないしは非保持化）する前提としての業務整理をするためのPCI DSSの基礎知識を習得できます。 ・SAQセクション1の書き方を習得できます。	・PCI DSSの要求項目に対応したSAQセクション2の要求事項を習得できます。 ・SAQセクション3の課記載方法を習得できます。

PCI DSS準拠 学習用DVD教材

(2/2)

DVD教材は、以下のような資料を画面に映し、音声でコンサルタントが解説をする形式です。

● DVDで使用する資料例

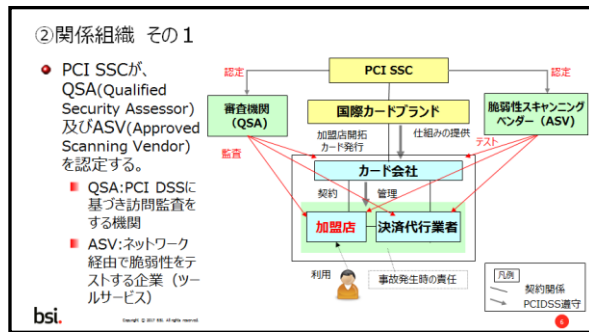
bsi. ...making excellence a habit™

PCI DSS準拠 導入コース

BSI Professional Services Japan株式会社
グローバルセキュリティエキスパート株式会社



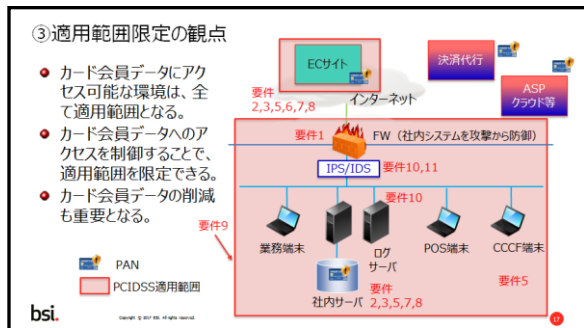
Copyright © 2017 BSI. All rights reserved.



①適用範囲とは

	データ要素	保存の許可	
カード会員データ	プライマリアカウント番号 (PAN)	YES	■ カード会員データ環境 (CDE:Cardholder Data Environment) ● カード会員データまたは機密認証データを保存、処理、伝送する範囲
	カード会員名	YES	
	サービスコード	YES	
	有効期限	YES	
機密認証データ*	全トラックデータ	NO	■ PCI DSSの適用範囲 ● カード会員データ環境(CDE)に含まれる、またはCDEに接続する全ての重要なシステムコンポーネント(ネットワークコンポーネント、サーバ、アプリケーション等) ※次ページにて解説
	CAV2/CVC2/ CVV2/CID※	NO	
	暗証番号(PIN※) /PINブロック	NO	

Copyright © 2017 BSI. All rights reserved.



II. SAQセクション2の要求事項 SAQタイプ一覧

	タイプ	加盟店の業態	項目数
非対面EC/通信販売加盟店	A	PSPのリンク (リダイレクト) 型の決済サービスを使用するEC加盟店・カード情報の全ての処理を外部委託するEC/通信販売加盟店	22
	A-EP	PSPのJavaScript型の決済サービスを使用するEC加盟店	193
対面/通信販売加盟店	B	CCT等の決済端末をタイラップ接続する主に対面加盟店	41
	B-1P	CCT等の決済端末をIP接続する主に対面加盟店	88
* E C 加盟店には適用されない	C	POSをインターネットに接続してカード処理する主にPOS加盟店	162
	C-VT	MO/TO及び仮想端末のみでカード処理する主に通信販売加盟店	85
対面/非対面加盟店	P2PE	PCI P2PEソリューションを導入した主にPOS加盟店	33
	D-M	PSPのモジュール (プロトコル) 型を使用するEC加盟店・カード情報をサーバやP.Cで保存するPOSや通信販売加盟店・カード情報をPOSシステムで通過、処理、保存する加盟店	331
サービスプロバイダー	D-S	カード発行のみ行うカード会社 (イシュア) 決済サービスプロバイダー (PSP) カード会社・PSP以外で、カード情報を取り扱っている事業者	369

Copyright © 2017 BSI. All rights reserved.

II. SAQセクション2の要求事項

要件 1 : カード会員データを保護するために、ファイアウォールをインストールして維持する

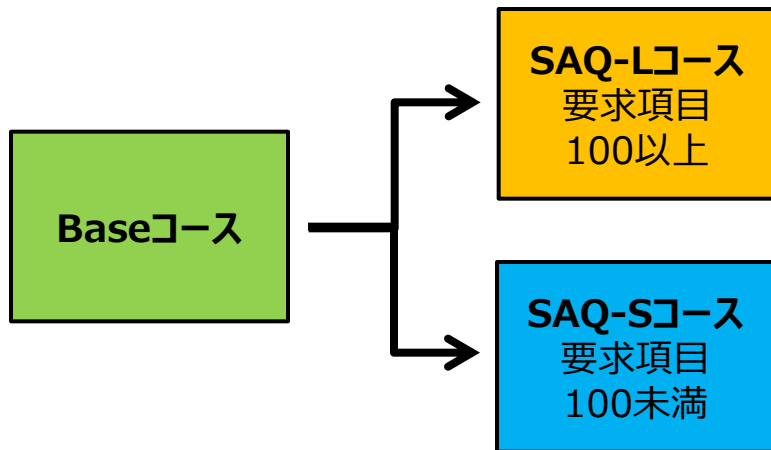
- ファイアウォールは事業者のネットワーク (社内) と信頼できないネットワーク (外部) とのコンピュータラフィック、および事業者の信頼できる内部ネットワーク内の機密性の高い領域へのトラフィックを制御するデバイスです。事業者の信頼できるネットワーク内の非常に機密性の高いエリアの例として、CDEが挙げられます。
- すべてのシステムは、電子商取引、従業員のデスクトップブラウザからのインターネットアクセス、従業員の電子メールによるアクセス、B2B 接続などの専用接続、ワイヤレスネットワーク、その他のソースを介したシステムへのアクセスなど、信頼できないネットワークからの不正なアクセスから保護されなければなりません。しかし、信頼できないネットワークへの (からの) 問題ないように思われるアクセス経路が、重要なシステムへの侵入経路になっていることがあります。ファイアウォールは、すべてのコンピュータネットワークのための、重要な保護メカニズムです。

Copyright © 2017 BSI. All rights reserved.

PCI DSS準拠に向けたSAQ作成を実践するワークショップを提供します。

- 各コースの位置付け

- 自社のPCI DSS準拠適用範囲またはSAQタイプがわからない方は「Baseコース」を受講ください。
 - ・ 「Baseコース」を受講することで自社SAQタイプが明確になり、「SAQ-Sコース」または「SAQ-Lコース」のどちらを受講すればよいかわかります。
- 自社のSAQタイプを明確に理解されている方は、自社タイプの要求項目数に応じて「SAQ-Sコース」または「SAQ-Lコース」のいずれか該当するコースを受講ください。
 - ・ SAQ-Sコース : PCI DSS要求項目数が100未満のSAQタイプ
 - ・ SAQ-Lコース : PCI DSS要求項目数が100以上のSAQタイプ



- Baseコース

- 自社の適用範囲/SAQタイプ不明の方（上記が明確ならば受講は不要）
- 非保持化の可能性を模索されている方（非保持化検討は加盟店のみ）

- SAQ-Sコース / SAQ-Lコース

- SAQタイプの要求項目数でコース区分

SAQ作成ワークショップ

(2/2)

PCI DSS準拠に向けたSAQ作成を実践するワークショップを提供します。

● SAQタイプ別コース対比表[参考]

	業態	カード情報の取り扱い形態	タイプ	項目数	ワークショップ
非対面 EC/ 通信販売加盟店	・PSPのリンク（リダイレクト）型の決済サービスを使用するEC加盟店 ・カード情報の全ての処理を外部委託するEC／通信販売加盟店	ECまたは通信販売の加盟店でカード情報をシステムまたは加盟店内で電子形式で通過、処理、保存しない	A	22	SAQ-S
	・PSPのJavaScript型の決済サービスを使用するEC加盟店	ECの決済をPCI DSS準拠済みのサービスプロバイダーに部分的に委託しているECの加盟店でカード情報をシステムまたは加盟店内で電子形式で通過、処理、保存しない	A-E-P	193	SAQ-L
対面／ 通信販売加盟店 * EC加盟店には適用 されない	CCT等の決済端末をダイヤルアップ接続する主に対面加盟店	インプリンター、スタンドアロン型のダイヤルアップの決済端末のみによってカード情報を処理する加盟店であり、カード情報を保存していない	B	41	SAQ-S
	CCT等の決済端末をIP接続する主に対面加盟店	決済ネットワークまたはASP／クラウド事業者にてIP接続されるスタンドアロン型のPCI PTS認定の決済端末のみによってカード情報を処理する加盟店であり、カード情報を保存していない	B-I-P	88	SAQ-S
	POSをインターネットに接続してカード処理する主にPOS加盟店	POSシステムまたはその他のインターネットに接続されているペイメントアプリケーション経由でカード情報を処理するが、カード情報をコンピューターシステムに保存しない加盟店	C	162	SAQ-L
	電話やハガキ／FAXでカード処理する主に通信販売加盟店	Webブラウザ等の仮想端末のみでインターネットを経由して、1件ずつカード情報を処理し、カード情報をコンピューターシステムに保存しない 決済に利用するWebアプリケーションはPSP、アクワイアラー等サードパーティーから提供される必要がある。	C-V-T	85	SAQ-S
	PCI P2PEソリューションを導入した主にPOS加盟店	PCI P2PEに認定されたソリューションを導入し、それらに含まれる決済端末のみでカード情報を処理する加盟店であり、カード情報を保存していない	P2PE	33	SAQ-S
対面／ 非対面加盟店	・PSPのモジュール（プロトコル）型を使用するEC加盟店 ・カード情報をサーバーやPCで保存するPOSや通信販売加盟店 ・カード情報をPOSシステムで通過、処理、保存する加盟店	・カード情報を自社のサーバーで処理する加盟店 ・カード情報を電子形式で保存する加盟店 ・カード情報を電子形式で保存しないが他のSAQタイプの基準を満たさない加盟店 ・他のSAQタイプを満たす環境があるが、自社の環境に他のPCI DSS要件が適用されるような加盟店	D-M	331	SAQ-L
サービス プロバイダー	・カード発行のみ行うカード会社（イシュア） ・決済サービスプロバイダー（PSP） ・カード会社・PSP以外で、カード情報を取り扱っている事業者	ペイメントブランドによりSAQ対象として定義された全てのサービスプロバイダー	D-S	373	SAQ-L

非保持化対応ワークショップ

(1/2)

カード情報非保持化に向けた対応策を策定をするワークショップを提供します。

● ワークショップの目的と狙い

- カード情報の非保持化についての**基本情報**を理解します。
- カード情報の非保持化の**実現方法**を理解します。
- 本ワークショップで提供する**各種テンプレートの活用方法**を理解します。
- 例題を元に各種テンプレートを**実際に作成**することで、実践的に学ぶことができます。
 - ・ EC、通販、POSの3種類の業態に関する例題を準備しています。
- 講師が一方向的に講義するタイプのセミナー形式でなく、**双方向コミュニケーションを活用**した集合研修方式のワークショップとなっています。

● ワークショップ受講で出来るようになること

- 現状のカード会員データ**取扱業務を整理**し、カード会員**データフローを作成**することができます。
- 非保持化の**課題ごとに対策を検討**し、**文書化**できます。
- 非保持化の達成をカード会員データフローと**チェックリストにより確認**できます。
- アクワイアラーの調査に対し、**非保持化を達成できていることを示す文書**が作成できます。

非保持化対応ワークショップ

(2/2)

カード情報非保持化に向けた対応策を策定をするワークショップで使用する教材を記します。

● ワークショップ教材（サンプル）

「実行計画」によるカード犯罪への体系的な取り組み

WG1：クレジットカード情報保護対策

WG2：偽造カード犯罪防止対策

WG3：ECカード犯罪防止対策

カード番号とみなさない措置

以下の処理がなされたものはカード番号とみなさない。

- トークナイゼーション（自社システムの外で不可逆な番号等に置き換え、自社システム内ではクレジットカード番号を特定できないもの）
- トランケーション（自社システムの外でクレジットカード番号を国際的な第三者機関に認められた桁数を切り落とし、自社内では特定できないもの）
- 無効処理されたカード番号

（『実行計画2018』P10より）

POS加盟店の非保持化の実

「外回り方式」と「内回り方式」の比較

- 「実行計画2016」では外回り方式のみが
- 百貨店や大手ショッピングモールなどは8月2017『実行計画2018』で内回り方式

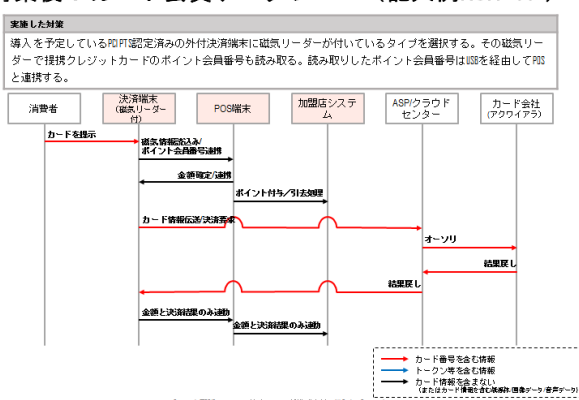
	外回り方式	内回り方式
定義	カード情報がPOS端末やシステムを通過しない（決済端末とPOS端末の間は金額と決済結果のみを通信）	カード情報がPOS端末やシステムを通過する
メリット	カード情報がPOSを保存・処理・通過しないのでそのまま非保持とみなせる	POS内蔵のカードリーダーが使用できる 決済端末は読み取りのみ（磁気リーダーなし）のものを選択できる。 レシートとカードの伝票が一体化が可能
デメリット	外付け決済端末の導入が必要 CCTを利用する場合は、レシートとカードの伝票が分離してしまう。	非保持と同等／相当と見なすために、11要件のセキュリティ措置を別途満たす必要がある。
実行計画で定義された非保持化方式	決済専用端末（CCT）連動型 ASP／クラウド連動型	PCI P2PE ASP／クラウド接続型 ①POS端末でDUKPTによる暗号化 ②PA-DSS認定の決済アプリを使用

● 提供テンプレート（サンプル）

非保持化チェックリスト＜対面加盟店＞

YES / NO	非保持化の確認項目
■ YES ■ NO	決済処理は以下のいずれかの非保持化または同等／相当のセキュリティ措置によって実施されている。 1) 外回り方式 2) PCI P2PEソリューションによる内回り方式 3) 『対面加盟店における非保持と同等／相当のセキュリティ確保を可能とする措置に関する具体的な技術要件について』による内回り方式
■ YES ■ NO	1) の場合は、加盟店内のPOS端末やクレジットサーバを経由せず、情報処理センターやASP／クラウドセンターに直接カード情報を連携している 2) の場合は、POSのリストに掲載されるPCI P2PEソリューションを選定し、導入マニュアル（PM）に従って利用している 3) の場合は、同文書記載の項目のセキュリティ要件が全て満たされている。
■ YES ■ NO	情報処理センターやASP／クラウドセンターなど加盟店とカード情報を共有する全ての外部委託事業者のサービスはPOSに準拠済みである。
■ YES ■ NO	決済以外の業務で一切のカード情報を電磁的に保存・処理・通過していない
■ YES ■ NO	過去データやバックまたはカード情報と
■ YES ■ NO	カード情報の取り扱いが判断する適切な手段
■ YES ■ NO	電子帳簿保存法に基づくネットワークを利用

対策後：カード会員データフロー（記入例No.1＜A＞）



PCI DSSに規定されている文書化要件に効率的に対応するための「文書テンプレート」を提供します。

- 文書テンプレートの概要

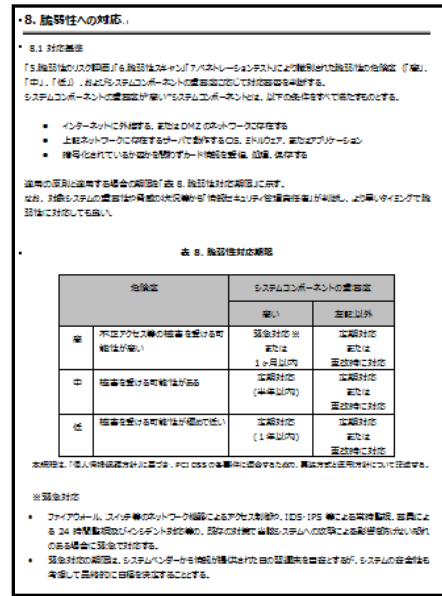
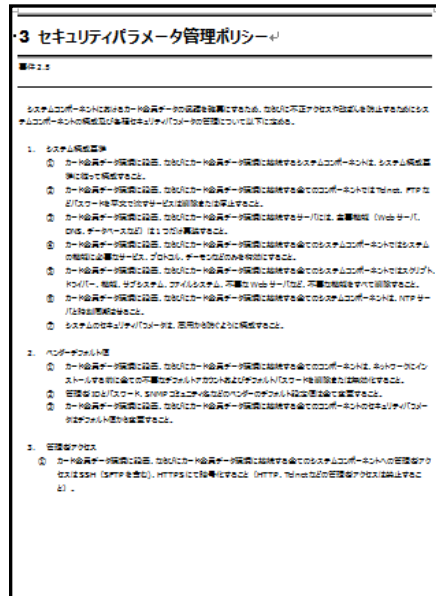
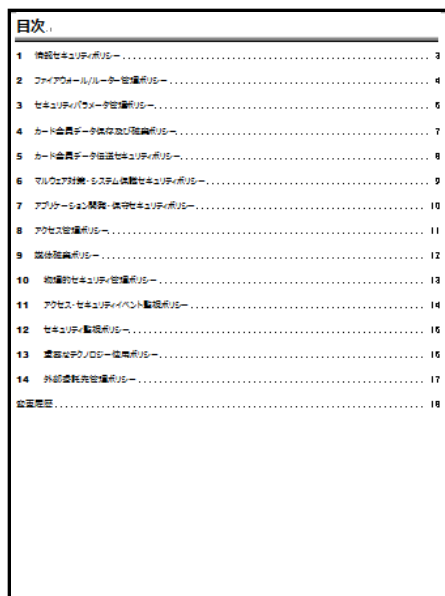
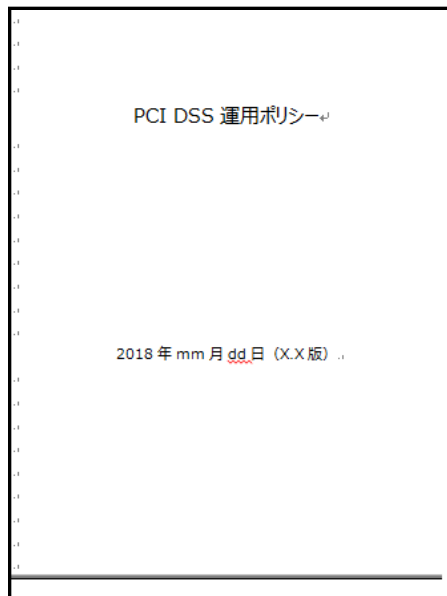
- PCI DSSの要求項目の中で、ルール、プロセス等の文書化要件は200項目弱に及びます。
- 文書化要件に対して、文書テンプレートを活用することで効率的に必要な文書作成をすることができます。
 - ・ 文書テンプレートは、特に企業共通で活用できる「規定」・「基準」・「ポリシー」を中心に揃えています。
 - ・ 「手順書」、「記録」、「図」については、個々の企業で差異が大きいためサンプルを提供することとします。
 - ・ それぞれの文書は、随時継続的に追加する予定です。
- 該当要求項目の文書テンプレートを参考に、追記、修正することで迅速に文書作成ができます。
- 文書テンプレートはダウンロード（MS Word、MS Excelファイルで提供）してご利用いただけます。
- PCI DSS要求項目と文書テンプレートの関連がわかるよう、「文書化チェックシート」を提供します。
- 文書テンプレートを購入されると今後の更新の際に無償で最新文書テンプレートをダウンロードできます。

文書テンプレート

(2/2)

文書は MS Word または MS Excel のファイル形式で提供します。
事前確認のためにWebサイトから文書テンプレートのサンプルをダウンロードすることができます。

● 文書テンプレート例【参考】



スキル強化支援サービス

● スキル強化支援サービス・メニュー

弊社では、PCI DSS準拠またはカード情報非保持化を目指す企業向けに以下のサービスを用意しています。

サービス名称	加盟店向け カード情報非保持化支援サービス	PCI DSS準拠 スキル強化支援サービス
サービス 対象事業者	加盟店（対面・非対面） （カード情報非保持化を目指す加盟店）	カード情報取扱全事業者 （PCI DSS準拠を目指す事業者）
サービス・メニュー	—	PCI DSS準拠 学習用DVD
	非保持化ワークショップ（集合研修）	SAQ作成ワークショップ（集合研修）
	—	文書テンプレート
	A I チャットボット&コンサルタント相談	A I チャットボット&コンサルタント相談
	非保持化支援コンサルティング（注1）	アドバイザー 準拠支援コンサルティング（注1）



AIチャットボット & コンサルタント相談サービス開発の背景

- 本サービスは、多くの“お客様の声”に真摯に耳を傾け、ご要望を実現するために開発したものです。

1. コンサルタント相談 : コンサルタントに一定回数の相談ができるようにすること
2. 有益な情報の提供 : ITを活用し、膨大な情報をいつでも提供できるようにすること
3. 料金設定 : 新たなビジネスモデルを創出し、低料金で柔軟な条件を設定すること

お客様の声（ご要望事項）

- 自社の対応等が正しいか**不安があるのでコンサルタントに確認・相談したい**

- ・ いつでも相談できるという安心感
- ・ 他企業を含めた現場、実態からの助言

弊社に求められる対応

コンサルタントへの相談
（経験・知見）

- PCI DSSや非保持化対応への**質問&回答集があれば参考**にしたい

- ・ 正確な知識・理解の確認
- ・ 最新情報の逐次反映（バージョンアップ、追加・更新情報等）

正確・膨大な情報の提供
（情報の量・質・鮮度）

- 通常の**コンサルティング料金は高額**で、活用したくても敷居が高すぎる

- ・ 回答の質を担保した低料金設定
- ・ 期間限定の柔軟な活用

新しいビジネスモデルによる
低料金設定
（高品質の担保）

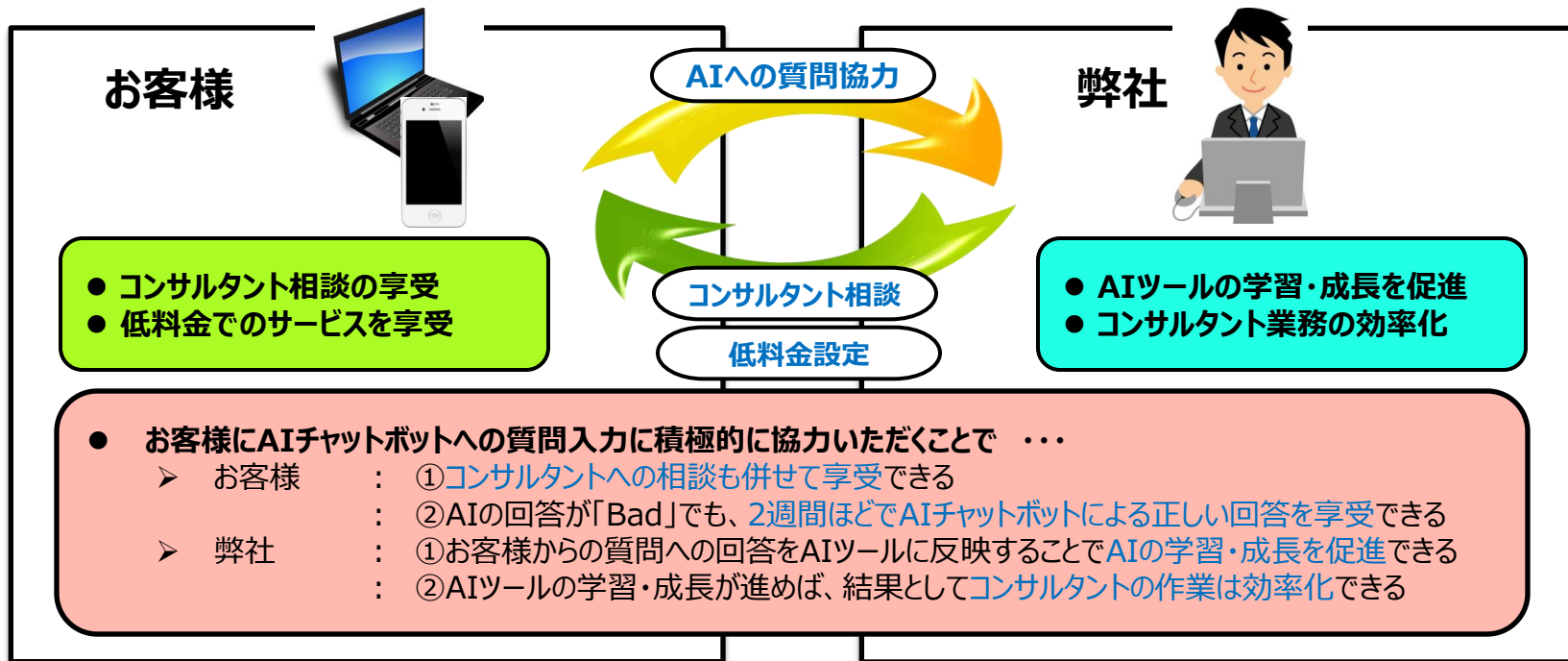
AIチャットボット & コンサルタント相談サービスの概要

- PCI DSSに関する個別の質問や相談をAIチャットボットとコンサルタントが対応するサービスです。
- AIチャットボット & コンサルタント相談の概要
 - お客様はいつでも**チャットボットでPCI DSSや非保持化に関する質疑応答**ができます。
 - ・ チャットボット：AIツールがお客様とチャット(テキストによる双方向コミュニケーション)でやり取りする仕組み
 - ・ AIツールは過去の質疑応答やセキュリティ対策関連資料データを蓄積し、お客様からの質問に回答します。
 - チャットボットによる回答で解決できない場合は、**コンサルタントとの相談を要求**することができます。
 - ・ コンサルタントとの相談は対応で可能時間、相談回数等に制限があります。
 - お客様は**チャットボットとコンサルタントへの相談を共に活用**することで、問題解決に役立てていただけます。
 - **契約期間とコンサルタントへの相談回数に応じた柔軟なサービス料金を設定しています。**
 - ・ 期間：6ヶ月または12ヶ月
 - ・ 回数：月3回または月5回



AIチャットボット & コンサルタント相談サービスの価値

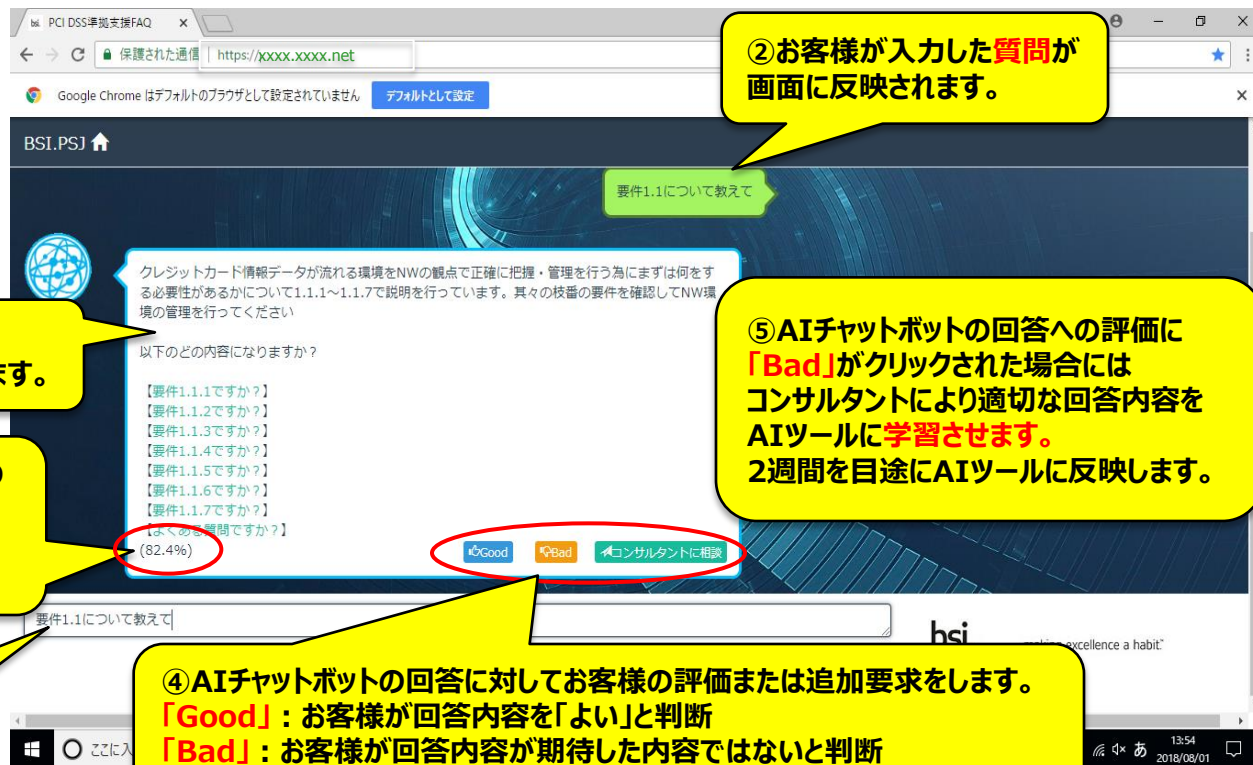
- お客様にAIチャットボットへの質問入力を積極的に実施いただくことで、弊社とお客様相互に **Win-Win**の関係性が構築できる**“新しいビジネスモデル”**です。
- だからこそ、**高品質のサービスを低料金でお客様にご提供**できるのです。



AIチャットボットの画面と操作

<質問 ~回答~評価の操作>

- 簡単な操作でAIツールとコミュニケーションすることができます。



AIチャットボットの画面と操作

<コンサルタント相談の要求操作>

- コンサルタントへの相談内容への回答は予め指定したお客様メールアドレス宛に送付します。

The screenshot shows a web browser window with the URL <https://xxxx.xxx.net>. The page title is "PCI DSS準拠支援FAQ". A pop-up window titled "xxxx.xxx.netの内容" is displayed, asking the user to input consultation content into a text box and click "OK". The main chatbot interface shows a response from the AI chatbot regarding PCI DSS requirements. Below the response, there are buttons for "Good", "Bad", and "コンサルタントに相談" (Consult a consultant), with the latter being circled in red. A search bar at the bottom prompts the user to "ここに入力して検索" (Enter here to search).

①AIからの回答の後「**コンサルタントに相談**」をクリックします。

②表示されるポップアップ画面から**コンサルタントへの相談内容を入力し、「OK」をクリック**します。

③チャットボットのQ&A内容の履歴と入力された**コンサルタント相談内容**が弊社窓口**にメールで自動配信**されます。**お客様指定アドレス宛にコンサルタントの回答をメール**します。

2週間 お試しサービス（無償提供）について

- AIチャットボット & コンサルタント相談サービスを2週間無料でお試しいただけます。
- 以下のURLから申込み手続きを開始してください。

<https://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/Cybersecurity-Information-Resilience/Services/PCI-DSS-Consultancy/chatbot/>

- お申込み後、2週間無料でお試しできる**アカウントを発行**します。
- 「AIチャットボット」機能はお試し期間中**いつでも質問を入力し、AIツールの回答を確認**することができます。
 - ・ AIチャットボットのお試し入力回数に制限はありません。
- 「コンサルタントに相談」機能については、**相談内容を入力**する操作ができます。
 - ・ 「お試し版」では、登録いただいたeメールアドレスに返信しますが、コンサルタントからの回答はしません。
- 本サービスを早期に充分に活用いただけるよう、**操作に慣れていただくことを主な目的**としています。
- お試し版の注意事項：
 - ・ お申込み確認後、登録いただいたeメールアドレス宛に2週間利用可能なアカウントを連絡させていただきます。
 - ・ 無料期間の終了後、自動的に課金されることはありません。

お申込方法とお問い合わせ

- 「PCI DSS・非保持化スキル強化支援サービス」のお申込方法とお問い合わせは以下を参照ください。

BSI PSJ

で検索、PSJトップページから「コンサルティング・アドバイザリー」中の強化支援サービスへとお進みください。

以下のURLからもご覧いただけます。

<https://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/Cybersecurity-Information-Resilience/>
ご不明な点などございましたら、 BSI.PSJ@bsigroup.com までお問い合わせください。

- 当講演資料のデータをご希望の場合は下記URLでダウンロードいただけます。

<https://page.bsigroup.com/psj-events>



BSI Professional Services Japan 株式会社

TEL: 03-6863-0110

Email: BSI.PSJ@bsigroup.com

URL: www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/consultancy/

協 力 会 社

fjコンサルティング株式会社

株式会社インフィニ

グローバルセキュリティエキスパート株式会社



...making excellence a habit.TM